

2020年度 理工学図書館LS講習会

理系の英語 プレゼンテーション講座



2020/12/7 (対面)

2020/12/15 (オンライン)

工学研究科

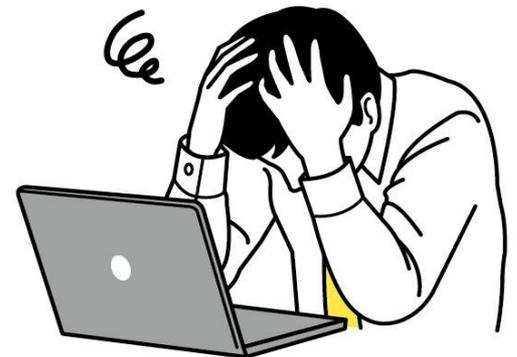
環境エネルギー工学専攻 M2

日本人は プレゼンテーションが 下手である

- 発表態度よりも内容を重視する傾向
- 絶対的な練習量の不足



伝わらなければ意味がない



本日の目的

- プレゼンスキルの大切さを知る
- 英語で研究発表ができるようになる

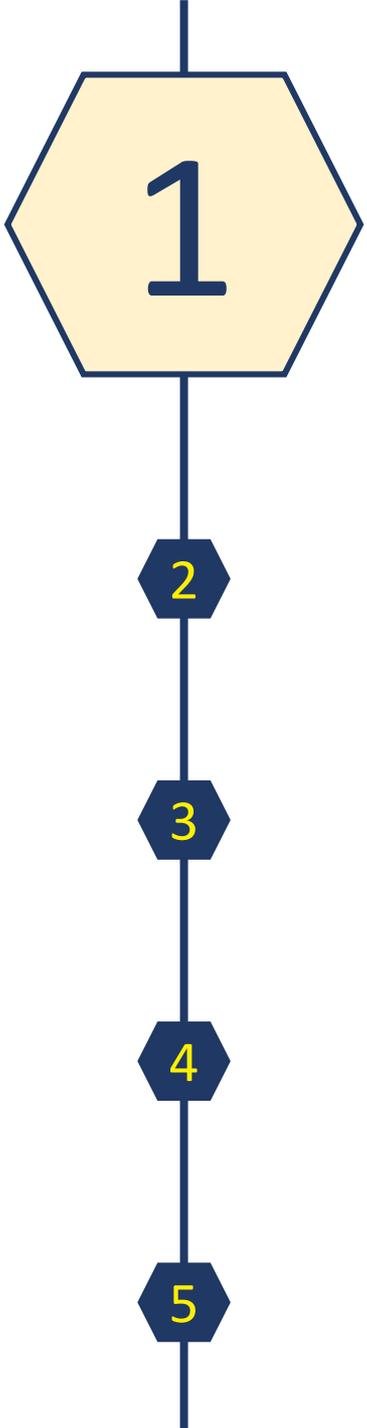


本日の内容

プレゼンまでの流れ

- 1 スピーチの構成
- 2 スライド作成
- 3 原稿作成
- 4 実践練習
- 5 質疑応答





1

スピーチの構成

1. 全体の流れを理解する

2. プロットを作成する

3. Introductionの構成を理解する

2

3

4

5

1. 全体の流れを理解する

1 構成

<研究発表の大まかな流れ>

2 スライド

Chairpersonへのお礼・挨拶

Introduction：イントロダクション

3 原稿

Method：研究方法

Results：結果

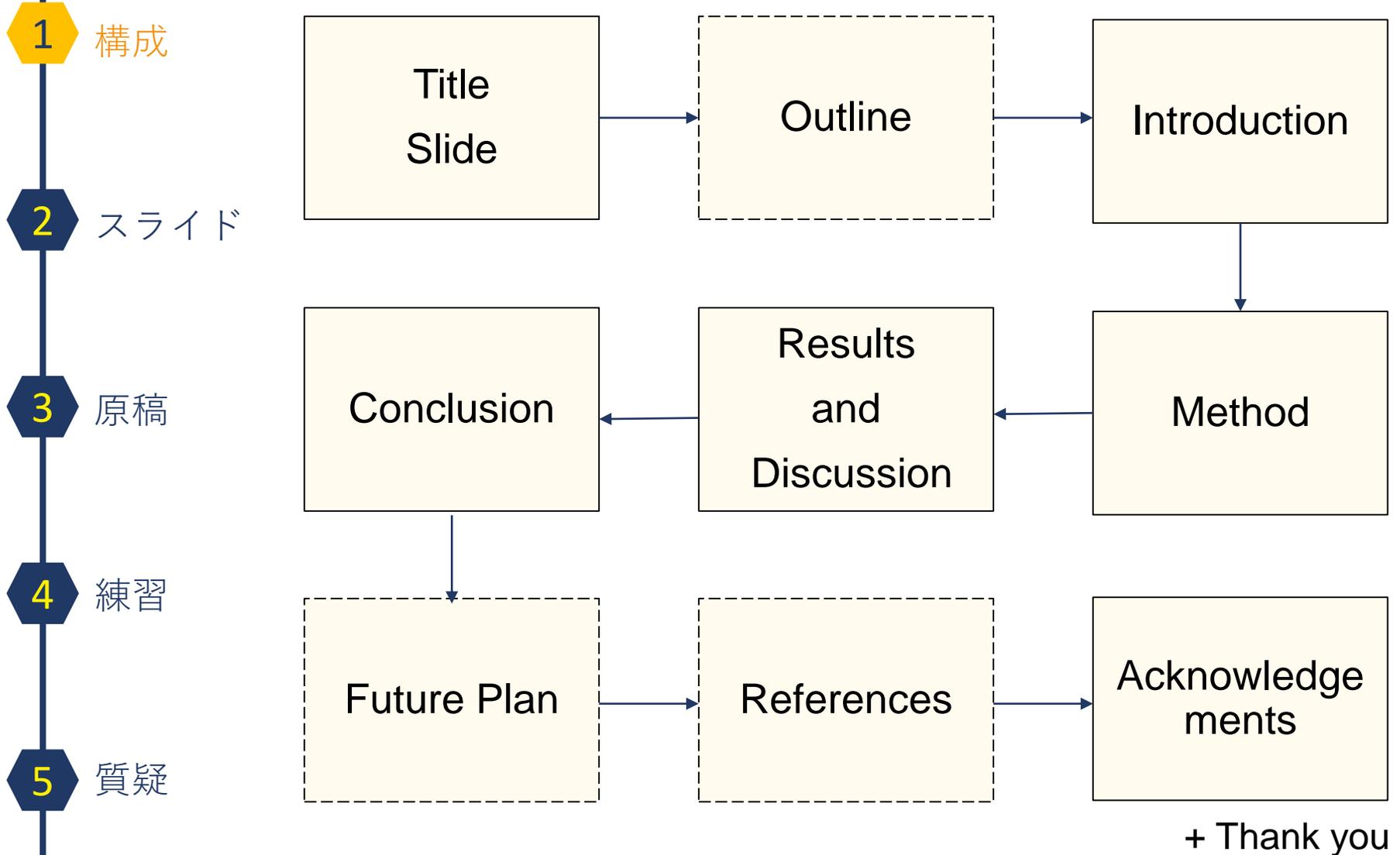
4 練習

Discussion：考察

5 質疑

Conclusion：結論

1. 全体の流れを理解する



2. プロットを作成する

1 構成

- ・ タイトル、目的、アピールポイント

2 スライド

- ・ **Introduction** : トピックの現状や注目度、それに対して何をするのか？

3 原稿

- ・ **Method** : 実験の概要、材料、手法

4 練習

- ・ **Results** : データから観察できたこと

5 質疑

- ・ **Discussion** : 結果の解釈、妥当性の主張

- ・ **Conclusion** : 得られた知見のまとめ

- ・ **Future Plan** : 今後の課題

3. Introductionの構成を理解する

1 構成

Title

- タイトルを紹介する
- そのまま読むのではなく語句を追加・削除して分かりやすく

2 スライド

省略可

Significance
of
Research

以下のいずれかを簡単に話す

- a) 自分がしたこと
- b) わかったこと
- c) 研究の目的
- d) 研究の価値、オリジナリティ

4 練習

省略可

Outline

- 話す内容の箇条書き

5 質疑

3. Introductionの構成を理解する

1 構成

Background

- トピックに関する最新情報
- 研究の意義、利点
- キーワードの定義

2 スライド

Problems

- 先行研究で未解決の問題を提示

3 原稿

4 練習

Purpose

- 研究の目的
- 研究のオリジナリティ
- アピールポイント

5 質疑

2

スライド作成

3

1. 時間内に収まる枚数にする

4

2. 一般的な表記法を身に付ける

5

3. デザインをシンプルにする

4. 1枚のスライドに詰め込まない

1. 時間内に収まる枚数にする

1 構成

スライドの枚数：

発表時間の分数 + 最大**5枚**程度

(Acknowledgements, Thank you, Referencesスライドを除く)

2 スライド

× 時間内に収めるために早口で話す

○ 大切なことはゆっくり目に話しても時間内に終了できる

3 原稿

○ メインではないものの重要なデータは非表示スライドとして用意、質疑応答対策に

4 練習

5 質疑

2. 一般的な表記法を理解する

1 構成

- 標準的な英語フォントを用いる
→見やすく、文字化けのリスクが少ない
(Arial, Tahoma, Century, Calibri 等)

2 スライド

- 見やすい大きさのフォントサイズを選ぶ
→タイトル：44 pt, それ以外：24~32 pt 程度

3 原稿

- 各スライドにタイトルをつける

4 練習

- タイトルスライドでの記載方法に注意する

5 質疑

- 発表者、共同研究者、所属が判別しやすいように

悪い例

The 6th XXX World Conference in LMN

日本語用フォントのため、
英語が全角に

AMIC for High Spatial
Resolution of XR

発表者、所属が
あやふや

文字が小さい

Osaka Taro, Iida Momoko,
Sawada Ken

XYZ University,
ABC University

The 6th XXX World Conference in LMN

AMIC for High Spatial Resolution of XR

Osaka Taro
XYZ University

Momoko Iida*, Ken Sawada**
*XYZ University, **ABC University

3. デザインをシンプルにする

1 構成

シンプルで見やすいスライドにするために

2 スライド

- ・ シンプルなデザイン推奨
- ・ 地味でソフトな色合い推奨
- ・ 色、フォントサイズは**3~4種類**
- ・ アニメーションは必要最低限に
- ・ 文章を詰め込まず余白を確保
- ・ 強調部分が目立っているか確認する

3 原稿

(目立つ色、太字、フォントサイズ等)

4 練習

5 質疑

3. デザインをシンプルにする(悪い例)

1 構成

シンプルで見やすいスライドにするために

2 スライド

- ・ シンプルなデザイン推奨
- ・ 地味でソフトな色合い推奨

3 原稿

- ・ 色、フォントサイズは3~4種類
- ・ アニメーションは必要最低限に

4 練習

- ・ 文章を詰め込まず余白を確保
- ・ 強調部分が目立っているか確認する

5 質疑

(目立つ色、太字、フォントサイズ¹⁶等)

4. スライド1枚に詰め込まない

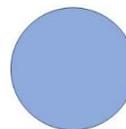
1 構成

Background

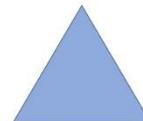
Currently, there are several types of solar cells, such as A, B, and C. As you know, in comparison to other alternative energy technologies, solar cells have a great potential for mass production and further improvement in performance. However, there remain many obstacles to their widespread use, and one of the biggest problems is their cost efficiencies.

2 スライド

Background



Type A



Type B



Type C

Fig. 1 Types of Solar Cells: A, B, and C

Huge potential

- Large-scale production
- Further development

Problems

- Widespread use
→Cost efficiency

3 原稿

- × 原稿そのまま
- × 読み上げて聴衆を見ない

4 練習

- キーワードのみ記載
- 内容がイメージ化されている

5 質疑

3

原稿作成

4

1. Spoken Englishを用いる

5

2. プレゼン用のフレーズを用いる

1. Spoken Englishを用いる

1 構成

文章で用いる

Written English

- ・ 受動態
- ・ 代名詞
- ・ It That 構文
- ・ 分詞構文



2 スライド

3 原稿

4 練習

5 質疑

直感的に理解しやすい

Spoken English

- ・ 能動態
- ・ 人称代名詞
- ・ You を用いた表現
- ・ Here is, There is 構文
- ・ 倒置による強調
- ・ What節の主語

1. Spoken Englishを用いる

1 構成

例1：受動態→能動態

This new method **was developed**.

2 スライド

↓

We **developed** this new method.

3 原稿

例2：What 節の主語

We tried to develop a new technique to ~.

4 練習

↓

What we tried to do was develop a new technique to ~.

5 質疑

2. プレゼン用のフレーズを用いる

1 構成

- 各パートで良く用いられる英語表現

I'm here to talk about ~ / My talk consists of ~

2 スライド

- シグナル表現

Here is ~ / Let me tell you ~

3 原稿

- つなぎの表現

First of all / Let's move on to next slide

4 練習

- 強調表現

The key point here is ~ / amazingly

5 質疑

4

実践練習

5

1. 発音に気を付ける
2. 重要なところは態度で強調する
3. 不適切・適切な態度を理解する

1. 発音に気を付ける

1 構成

単語レベル

- 正しい発音は事前に検索
- 口を大きく開けて
- 語尾で余分な母音を残さない

2 スライド

3 原稿

文章レベル

4 練習

- 出だしで元気に声を出す
- 文中の句切れ、文の終わりには小休止
- ゆっくり大きく話す

5 質疑

2. 重要なところは態度で強調する

1 構成

2 スライド

3 原稿

4 練習

5 質疑

強調のためのテクニック

- 英語表現
- 修辞疑問文
- 重要部分の繰り返し
- ボディランゲージ



3. 適切・不適切な態度を理解する

1 構成

2 スライド

3 原稿

4 練習

5 質疑

適切な態度とは...

- いい姿勢
- 自信ある態度
- ボディランゲージ
- 聴衆とのアイコンタクト



不適切：揺れる、I'm sorry 乱用、手を前後で組む

5

質疑応答

1. 質疑部分のみを抽出する
2. 回答フレーズを使う
3. 英語の論理展開に従って答える
4. 答えられない時の対応を身に付ける

1. 質問部分のみを抽出する

1

構成



早口で文章も長くて
質問が聞き取れない...

2

スライド

3

原稿



全てを聞き取ろうとしない
接続詞に注意して
質問部分のみを聞き取る

4

練習

5

質疑

例 : This is probably because my area of specialization is not the same as yours, **but** I am wondering why you utilized X-1?

2. 回答フレーズを使う

1 構成



それでも質問が
聞き取れなかった...

2 スライド

3 原稿



黙り込まない
聞き返すまたは意味を確認する

4 練習

有効なフレーズ：

Could you repeat your question?

Do you mean ~?

5 質疑

3. 英語の論理展開に従って答える

1 構成

2 スライド

3 原稿

4 練習

5 質疑

英語での答え方：

× 説明・前置きを述べてから最後に質問の答え

○ ダイレクトな答えを述べてから詳細を説明

・ Yes/ No

・ 5W1Hに対する答え

4. 答えられない時の対応を身に付ける

1 構成

- お役立ちフレーズを使う

2 スライド

It's difficult to answer now, so maybe we can talk about it later.

3 原稿

Unfortunately, I don't have the data with me right now, but please contact me if you are interested in more details.

4 練習

- 堂々と答える

5 質疑

まとめ

プレゼンまでの流れ

1

スピーチの構成：先にプロットをつくる

2

スライド作成：見やすく、シンプルに

3

原稿作成：**Spoken English**とシグナル表現で

4

実践練習：大事！

5

質疑応答：対応策を身に付けておく

さいごに



今日の内容は**応急処置**

→出典：「研究発表ですぐに使える
理系の英語プレゼンテーション」
を参考に海外でも通用するプレゼ
ンテーションを

図書館に所蔵：書誌ID 2004435257